



新潟教区報 第130号
 2021 (令和3) 年 7月 日 発行
 編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
 〒940-2402
 新潟県長岡市与板町与板乙 4356 本願寺新潟別院内
 TEL : 0258-72-2120
 FAX : 0258-72-2536

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要
 新潟別院再建二〇年法要に向けて

新潟教区法要委員会が発足

本願寺では二〇二二(令和四)年に「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が営まれます。新潟教区では、この法要をお迎えするにあたり、「新潟別院再建二〇年」を併せた法要に向けて「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要新潟教区推進委員会」(以下法要委員会)が発足しました。

また、法要委員会に、法要の予算や参拝調整等を協議する「総務部」、法要で依用する作法や習礼等を協議する「法要部」、法要の際に開催する行事について協議する「行事部」、法要の冊子の作成や教区報に情報を広報する「広報部」の四つの部門が設置され、それぞれ協議を進めています。

また、法要委員会に、法要の予算や参拝調整等を協議する「総務部」、法要で依用する作法や習礼等を協議する「法要部」、法要の際に開催する行事について協議する「行事部」、法要の冊子の作成や教区報に情報を広報する「広報部」の四つの部門が設置され、それぞれ協議を進めています。

法要は二〇二二(令和四)年十月二十二日(土)・二十三日(日)の二日間
 にわたって修行を予定
 しております。

法要委員会委員は、
 教区会議員・新潟別院
 責任役員・総代・各組
 長・教化団体・各種団
 体代表者から選出され
 た二十三名で発足し、
 委員長に上戸聡さん、
 副委員長に池田昭治さ
 んが就任されました。
 また、参与には宗会
 議員の黒田玲さんと中
 静幸治さんに就任して

新潟教区法要事務所 法要委員会組織					
<事務所長>					
法要事務所長	岩佐善静		教務所長	輪番	
<参与>					
三条組	僧 黒田玲	福勝寺	宗会議員	責任役員	
元上組	門 中静幸治	明鏡寺	宗会議員	責任役員	
<法要委員会 正・副委員長>					
法要委員長	僧 上戸聡	隆泉寺	教区会議長	責任役員	
副委員長	門 池田昭治	圓光寺	副議長、門総会長	責任役員	
<法要委員>					
組名	僧門	名前	寺号	教区役職	別院役職
与板組	門	黒川裕士	光源寺	教区会議員	総代
	僧	前波有基	長明寺	組長	総代
長岡組	僧	小川一幸	了覚寺	教区会議員	
	僧	藤井哲雄	西福寺	組長代表	総代
	門	穂積弘子	西楽寺	仏教婦人会連盟	
元上組	僧	鷲尾純一	託念寺	教区会議員 保育連盟理事長	
	僧	大岩裕志	善行寺	組長	
三条組	僧	皆川賢一	西福寺	教区会議員	
	門	皆川静男	西福寺	教区会議員 (常備会員)	総代
	僧	山之内浩乗	長念寺	組長 実践運動副委員長	
地藏堂組	僧	上山善英	勝誓寺	教区会議員	
	僧	上山宏淳	勝圓寺	組長	
新潟組	僧	片山信威	信生寺	教区会議員 (常備会員)	総代
	僧	川井善樹	圓滿寺	組長	
	僧	本多千重子	照覚寺	寺院女性会連盟	
巻組	僧	井上慶永	妙光寺	教区会議員(常備会員) 実践運動副委員長	総代
	門	八百板徹	安養寺	教区会議員	総代
	僧	阿部慶剛	長嚴寺	組長	

法話 「ほつとをもつと」

本願寺派布教使 巻組 善了寺住職 新田 陽淳

皆さんは、いまどこで「遠慶」を読んでいますか？

二〇二二年版「子供・若者白書」によると、家庭や学校、インターネット空間など「ほつと」できる居場所が多い人ほど、自分が好きだと感じやすいそうです。新型コロナウイルス禍に伴う孤独・孤立が深刻な中、居場所の重要性が示されました。

若者だけでなく、私も家庭があることで生活が安定しているのを感じますし、再開した自坊の行事には、感染防止に配慮しながらも、ふれあいを求めておられたのか以前より多くの方が参拝されました。

十五年前の出来事を思い出します。

「もう来ないでほしい。」月忌参りに伺った門徒さんに、突然言われました。

理由を尋ねますと、「他宗教の信者さんが来ているから、読経されると気まずい」。当時、勧誘者数名が訪問に通っていたらしく、入信されてしまいました。引き留めても、聞き入れてもらえません。

「私はどこに行っても居場所がないのです。それがつらい。でもあの方達は違う、変わらない態度で温かく接してくれるんです。」

心の叫びを聞いて、私は何も言えませんでした。

帰り道…自分は読経だけをしていれば良いと思っていなかったか。孤独や悲しみを少しでも想像したか…仏法にお取次ぎできな

ったことも含め、反省しております。

「十方微塵世界の 念仏の衆生をみそなはし

撰取してすてざれば 阿弥陀となづけたてまつる」(浄土和讃)

阿弥陀さまは、世界中のすべての生命を見捨てない、と誓われま

した。
私はひかりにであい、生きていてもいいんだ、と強く思えました。
心の拠りどころができた。そして自分の事しか考えていないことも
知りました。

いま新型コロナウイルス禍により、様々な方がいわれのない偏見
や中傷を受け居場所を失っています。十五年前のように見捨てるこ
となく苦しみに寄り添い、みんながほつとできる社会をめざし呼び
かけていきます。



新潟別院 御取越報恩講を修行

六月二十五日（金）から六月二十七日（日）までの三日間にわたって、新潟別院の御取越報恩講を修行いたしました。

新潟県で昨年発令された、新型コロナウイルス感染症の県独自の警報や五月中旬より長岡市で要請された飲食店の時短営業、また、県内の感染者数増加などを鑑みて、新潟別院の御取越報恩講は昨年と同様に職員のみでの修行と至りました。

今年度の報恩講は、二十五日の日中法要から始まり、二十七日の日中法要までの全部で五座を修行しました。また、例年通りにお逮夜の法要後に「御伝鈔」の拝読を行ないました。職員のみでの出勤でしたが、なるべく平常の御取越報恩講に近い形を目指し、法要を修行いたしました。

しかし、積極的な参拝奨励が出来ず、出勤者もない法要を二年連続で行なうことは大変残念なことであります。来年度は平常の御取越

報恩講を勤めることが出来る社会状況になることを願うばかりです。

今年度の新潟別院謝恩講は十月二十三日（土）二十四日（日）の二日間です。現在のところ例年通りの修行を予定しております。

来年度の新潟別院御取越報恩講は奈良教区の花岡静人さんをご講師にお招きし、修行する予定となっております。

皆さん謝恩講、来年度の報恩講共に奮ってのご参拝をお願いいたします。



報恩講法要時の内陣



落慶法要時の新潟別院（2003年）



新潟別院落慶法要の様子（2003年）

教区報「遠慶」で載せる過去に別院で修行された親鸞聖人御誕生八〇〇年・立教開宗七五〇年の法要の写真を募集しております。写真を提供いただける方は nkyouku@aroma.oc.n.ne.jp のアドレスに写真を添付して送信してください。

新潟教区の親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要は新潟別院再建二〇年も併せた法要と致します。旧与板・三条別院や再建後の新潟別院の写真を載せ、皆さまと共に法要の機運を高めていけたら幸いです。



旧与板別院の清掃奉仕の様子（平成4年元上組）

写真提供のお願い

れんけん 「連研」おすすめ資料のご案内

本願寺（門信徒教化部）より、連続研修会「連研」を充実させるための教材やリーフレットが続々とリリースされています。各組での「連研」開催にご活用いただきませうよう、ご紹介をさせていただきます。

紙媒体での冊子・リーフレット

送付をご希望の方は新潟教区教務所（TEL 〇二五八七二二二二〇）までご連絡ください。なお、左記の冊子中、『連研』のすすめ』は有償での配布となります。



『始めてみませんか？れんけん』

対象：「連研」未開催組・長期休止組における組長
および、連研事務局（スタッフ）
内容：「連研」開催における効果や変化を、お寺・僧侶・門信徒の各視点から再確認しています。



『れんけんに参加しませんか？』

対象：「連研」未受講の門信徒
内容：口頭だけでは伝わりにくい「連研」の内容などが簡潔に説明されています。「連研」へのご参加をお勧めする時等にご活用いただけます。

『「連研」のすすめ』

対象：「連研」スタッフ・僧侶
内容：「連研」を開始するにあたっての注意点や準備物、募集方法に始まり、話し合い法座のすすめかたや中央教修へのお誘いなど、詳細に記載されています。全国の連研スタッフの声も掲載されていますので、大いに参考にしていただければと思います。



映像資料 DVD二枚組

（本願寺ホームページでも公開中）



『れんけんに行ってみよう!』

対象：「連研」未受講の門信徒
連研ちゃんねる：全国の連研スタッフが「連研」の魅力
を語っています。



勤式・作法編：本願寺派の基本的な仏前作法などを説明しています。
教義編：浄土真宗のみ教えが、わかりやすく説かれていきます。

『話し合い法座をすすめるために』

対象：連研スタッフ・僧侶
内容：問題提起や話し合い法座、まとめにおける注意点やポイントなど、「連研」をすすめていくためのノウハウなどが盛り込まれています。

第一回 同朋運動連続学習会

日時 六月十七日(木) 十四時～十七時

会場 本願寺新潟別院本堂

テーマ 同朋運動の歴史(宗祖時代～戦前の差別事件と戦後の同朋運動の歴史)

講師 同朋部会員 与板組雲外寺住職 真敷 祐孝さん

同朋運動連続学習会を受講して

与板組 光源寺 衆徒 清水 正敏

六月十七日開催の同朋運動連続学習会を受講させて頂きました。第一回学習会では、「同朋運動の歴史」というテーマで宗祖時代～戦前の差別事件と戦後の同朋運動の歴史を学ばせて頂きました。

これまで学生時代の講義や自坊に戻ってから組の研修会などで被差別部落について学ばせて頂く機会はありませんでしたが、今思えばどこか他人様の様に受け止めてしまっていた様に思います。

この度の学習会では本願寺教団が差別に加担してきた歴史を学ばせて頂きました。そういった事実があることは今までの研修会などでも聞いたことがあります。教団内で被差別部落の寺院や僧侶、ご門徒に対して過酷な差別を行っていたという様な具体的なお話は初めて聞かせて頂きました。

教団内での差別の歴史を学び、驚きと共にその事を知らずにいた自身の差別への知識の無さに気付かされました。

「歴史に学ぶ」と言われるように、この学習会を通じて差別の歴史を知るだけでなく、では、自分自身はどうなのかと向き直った時に私にど

のような行動が出来るのかを考えていきたいです。

同朋運動の歴史を学習し終えて

新潟組 誓岸寺 門徒推進員 渡辺 恵子

幕府の身分制度から、浄土真宗本願寺派教団は自ら内部の身分制度を整備して、差別を強化した。中でも被差別部落の寺院・僧侶には過酷な差別の強要してきた過去がある。差別を受けていた僧侶と門信徒が自ら「差別・被差別からの解放」を求めて立ち上げたという同朋運動の歴史を学びました。

被差別側の苦しみは「他人事」ではない。身分制度や時代背景、様々な理由から差別する生き方をしてしまう「当事者意識」を強く感じました。

この同朋運動を学ぶにあたり、組の連研・中央教修が必須であり、通過点であると認識しました。

では、これからどう進んでいくべきか。研修で知るべきことを学ぶ。多くの聴聞に接しながらみ教えの正しい解釈を知る。そして、「正しい判断」ができる生き方をするように努めたいです。同時に、若い世代の門信徒に伝えていく、若い世代の僧侶の学習意欲に期待しています。

～今後のテーマ～

第二回 「差別法名・過去帳調査について」

第三回 「教団内の差別事件に学ぶ(戦後～現代)」

第四回 「新潟の差別事件に学ぶ」

第五回 「ハンセン病差別」

第六回 「性差別・障がい者差別」

第七回 「平和・ヤスクニ問題」

参加を希望される方は教務所までご連絡ください。



講義の様子



話し合いの様子

寺院巡り

長岡組 圓宗寺

えんしゅうじ

住所 新潟県長岡市日赤町二一〇一
電話 〇二五八―三三三―三二九二

当寺は、僧空善が古志郡鉢伏村（現在の長岡市鉢伏町）に開基し、天文二（一五四九）年に蔵王村（同蔵王）へ、元和二（一六一六）年には上寺町（同渡里町）へと移転をくりかえし、現在の日赤町（当時は大工町）に至ります。

もとは真言宗であったそうですが、天正年間（一五七三〜九二二）に浄土真宗へ転派したとのことです。

慶応四（一八六八）年七月の戊辰の役の兵火で焼失。また昭和二〇（一九四五）年八月一日の長岡空襲で再び焼失しますが、翌年十一月に仮堂を建立し、昭和三十九（一九六四）年七月に現堂宇を再建しました。

度重なる移転や災禍を乗り越えられたのも、ひとえにご門徒の皆様やご縁のあった多くの方々のおかげであります。

現在は新型コロナウイルスによる災禍の只中です。諸行事・仏事が困難な状況で聴聞の機会が失われている中ではありますが、ひとつひとつのお念仏のご縁を大切に結ばせていただきたいと思います。



教務所・別院からのお知らせ（会場記載がないものは新潟別院で行います）

令和三年七月 日〜令和三年十一月十五日まで

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止や延期となる場合がございます。ご確認のうえ、お申込み・ご参加ください。

▽新潟別院 謝恩講

日時 十月二十三日（土）〜二十四日（日）
講師

▽新潟別院 常例法座

日時 十月九日（土）・十一月九日（火） 十時三十分〜
講師 未定

▽新潟別院公開講座〈みんなで学ぶ歎異抄〉

日時 七月二十一日（水）・九月七日（火） 十四時〜十六時
講師 本願寺派輔教 与板組 光源寺住職 清水 正朋さん
本願寺派輔教 長岡組 西福寺住職 高橋 純明さん

▽同朋運動連続学習会

第二回 八月三十一日（火） 十四時〜
講師 与板組 隆泉寺住職 上戸 聰さん
第三回 十月二十一日（木） 十四時〜
講師 卷組 妙光寺住職 井上 慶永さん

得度

▼三月十五日 地藏堂組 永了寺 赤坂 勲太さん（釋大乘）

お悔やみ 令和三年二月二日〜令和三年七月一日

生前のご功勞を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。
▼二月十九日 地藏堂組 勝圓寺前住職 上山 孝輝さん（八十四）